

平成25年度事業報告書

公益目的事業

公1. 誘致活動に係る支援事業

1. 観光客誘致拡大推進事業

(1) 関係団体助成事業

主要旅館連盟や旅行会社等が実施する誘客事業を積極的に助成することにより、観光客の誘致拡大に努めた。

補助実績：主要協定旅館連盟助成事業2件

主要旅行代理店集中送客宣伝事業10件

2. 教育旅行補助事業

23年度から実施している教育旅行による市内宿泊校への補助制度について、24年度から5年間は宿泊補助制度を継続し、最長3年利用可能。また「みやざき元気体験プログラム」を利用する場合は、新規、継続に拘らず利用料金の補助を行う。宮崎教育旅行誘致受入協議会と共催で、「みやざき元気体験プログラム」や補助制度を主なセールスツールに、関西圏及び中四国の学校及び旅行エージェントを中心に誘致宣伝を実施した。

期間：平成25年4月1日～平成26年3月31日（28年度迄継続事業）

内容：補助金10,000千円

宿泊補助（1人3千円） 体験補助（一人上限2千円）

(1) 誘致対策の推進

○視察・招聘関係

① 奈良県立奈良朱雀高校教育旅行現地視察

期日：平成25年4月25日

旅行社：JTB教育旅行奈良支店

参加者：先生2名 旅行会社1名

内容：体験学習を実体験して頂き、素材説明

② 南九州3県教育旅行現地視察研修会（招聘）

期日：平成25年7月29日～31日

宿泊：1日目…鹿児島市泊 2日目…宮崎市

主催：JR西日本旅客鉄道(株)

参加者：関西の旅行会社 8社13名 宮崎県側23名

内容：体験学習を中心に素材を実体験して頂く。素材説明会・意見交換会を通して情報を発信・収集、太鼓を実体験

③ 大阪市立摂陽中学校教育旅行現地視察

期日：平成25年8月1日

旅行社：JTB教育旅行大阪支店

参加者：先生4名 旅行会社1名

内容：体験学習を実体験して頂き、素材説明

④ 大阪市立住之江中学校教育旅行現地視察

期日：平成25年8月9日

旅行社：トップツアー大阪教育旅行支店

参加者：先生2名 旅行会社1名

内容：体験学習を中心に素材説明

- ⑤ 奈良県立山辺高校教育旅行現地視察
 期 日：平成25年8月22日
 旅行社：名鉄観光奈良支店
 参加者：先生4名 旅行会社1名
 内 容：体験学習を実体験して頂き、素材説明
- ⑥ 大阪市立友渕中学校教育旅行現地視察
 期 日：平成25年8月26日
 旅行社：JTB教育旅行大阪支店
 参加者：先生3名 旅行会社1名
 内 容：体験学習を実体験して頂き、素材説明
- ⑦ 宮崎県教育旅行現地視察会（招聘）
 期 日：平成25年8月25日～27日
 宿 泊：1日目…高千穂町 2日目…宮崎市
 主 催：宮崎県教育旅行誘致推進事務局
 参加者：関西の中学校の先生 1校2名 宮崎県側5名
 内 容：体験学習・観光を中心に現地視察
 素材説明会・意見交換会を通して情報を発信・収集、太鼓を実体験
- ⑧ KNT九州教育旅行現地視察研修
 期 日：平成25年9月4日～6日
 宿 泊：1日目…人吉市 2日目…鹿児島市
 主 催：近旅連教育旅行部会
 参加者：首都圏・中部・関西・九州の修旅営業担当者8名 宮崎県側6名
 内 容：体験学習を中心に現地視察と体験。意見交換会を通して情報を発信・収集、太鼓を実体験
- ⑨ 奈良県立橿原高校教育旅行現地視察
 期 日：平成25年10月15日
 旅行社：近畿日本ツーリスト 奈良支店
 参加者：先生3名 旅行会社1名
 内 容：体験学習を中心に施設、観光地等の素材説明
- ⑩ 中国JTB教育旅行担当者 宮崎県現地視察会
 期 日：平成25年11月7日～9日
 宿 泊：1・2日目…宮崎市
 主 催：宮崎県教育旅行推進事務局
 参加者：JTB関西、中四国、九州7名 宮崎県側16名
 内 容：体験学習を中心に現地視察と体験及び意見交換会を通して情報を発信・収集
- ⑪ 種子屋久ツーリスト現地視察研修
 期 日：平成25年12月5日
 宿 泊：宮崎市
 主 催：種子屋久ツーリスト
 参加者：本社・西之表営業所の2名
 内 容：体験学習を中心に現地視察と体験。現場で意見交換・情報収集
- ⑫ 台湾国際教育旅行関係者・南九州視察
 期 日：平成25年2月22日～26日
 宿 泊：1日目…鹿児島市 2日目…指宿市 3・4日目…宮崎市
 主 催：みやざき観光コンベンション協会
 参加者：台湾政府、台北・台中・高雄の校長先生等、教育旅行連盟、交流協会の11名
 宮崎県側19名
 内 容：学校交流と現地視察、歓迎交歓会にて情報を発信・収集、太鼓を実体験

○誘致セールス関係

① 旅連協四国誘致キャラバン

期 日：平成25年4月10日～4月12日

主 催：旅連協

参加者：13名（内2名事務局職員）

内 容：主要旅行代理店 愛媛6社 香川県5社 高知県5社を訪問
宮崎県のイベント・観光素材を提案し旅行商品造成の依頼、教育旅行誘致セールス

② 熊本県・鹿児島県誘致セールス

期 日：平成25年5月8日～5月10日

主 催：宮崎市観光協会

参加者：4名（事務局職員）

内 容：主要旅行代理店19社を訪問
宮崎県のイベント・観光素材を提案し旅行商品造成の依頼、教育旅行誘致セールス

③ 大分県誘致セールス

期 日：平成25年6月3日～6月4日

主 催：宮崎市観光協会

参加者：2名（事務局職員）

内 容：主要旅行代理店9社を訪問
宮崎県のイベント・観光素材を提案し旅行商品造成の依頼、教育旅行誘致セールス

④ 関西キャラバンみやぎき誘致宣伝隊

期 日：平成25年6月11日～6月12日

主 催：日本旅行旅館ホテル連盟

参加者：16名（内1名事務局職員）

内 容：日本旅行7支店を訪問
宮崎県のイベント・観光素材を提案し旅行商品造成の依頼、教育旅行誘致セールス

⑤ 大阪府・兵庫県 修学旅行誘致セールス

期 日：平成25年7月23日～25日

主 催：宮崎教育旅行受入協議会

参加者：24名（協議会会員・宮崎県・みやぎき観光コンベンション協会・宮崎市・小林市・
フォレストピア高千穂郷ツーリズム協会・北きりしま田舎物語推進協議会）

内 容：10班に分かれ大阪府の中学校145校、旅行会社11社・兵庫県の中学校52校、
旅行会社8社を訪問し、体験学習を中心に、コース・施設・補助金を説明

⑥ 岐阜県修学旅行誘致セールス

期 日：平成25年8月8日

主 催：宮崎教育旅行受入協議会

参加者：3名（事務局職員・宮崎カーフェリー、宮崎観光ホテル）

内 容：主要旅行代理店5社を訪問
宮崎県のイベント・観光素材を提案し旅行商品造成の依頼、教育旅行誘致セールス

⑦ 宮崎県・大分県修学旅行誘致セールス

期 日：平成25年11月14日～15日

主 催：宮崎市観光課

参加者：6名（宮崎市・事務局職員）

内 容：3班に分かれ宮崎県の山間部 日之影町、高千穂町、諸塚村、五ヶ瀬町、椎葉村、高千穂町、延岡市（東海小）の小学校23校 大分県佐伯市の小学校9校を訪問。体験学習を中心に、コース・施設・補助金を説明

⑧ JTB 旅ホ連宮崎支部東京 MICE キャラバン

期 日：平成25年11月28日～29日

主 催：JTB 旅ホ連宮崎支部

参加者：59名（JTB側42名 宮崎側17名）

内 容：下期集中送客キャンペーンの概要説明及び観光素材の提案

- ⑨ 香川県・広島県 修学旅行誘致セールス
期 日：平成25年12月16日～19日
主 催：宮崎教育旅行受入協議会
参加者：15名（協議会会員・宮崎県・宮崎市）
内 容：7班に分かれ香川県の中学校67校 旅行会社5社・広島県の中学校70校、
旅行会社5社を訪問。体験学習を中心に、コース・施設・補助金を説明
- ⑩ 大分県・宮崎県合同キャラバン 四国修学旅行誘致セールス（愛媛県）
期 日：平成25年1月29日～31日
主 催：東九州広域観光推進協議会
参加者：13名（宮崎県23名 大分県17名）
内 容：旅行代理店12社 マスコミ4社 行政4社 フェリー会社2社を訪問
宮崎県のイベント・観光素材を提案し旅行商品造成の依頼、教育旅行誘致セールス

○会議・相談会・説明会

- ① 南九州修学旅行誘致受入対策会議（3県合同）
期 日：平成25年6月11日
会 場：鹿児島市「レンブランドホテル鹿児島」
主 催：熊本県・鹿児島県・宮崎県（幹事：鹿児島県観光連盟）
参加者：32名（宮崎8名、熊本8名、鹿児島20名、旅行会社4名）
内 容：3県の事業内容発表、合同セールス検討、情報交換
- ② 九州7県合同修学旅行説明会・相談会（岡山会場）
期 日：平成25年8月6日
会 場：岡山県岡山市「メルパルク岡山」
主 催：九州観光推進機構
参加者：九州7県31名（宮崎6名）、運輸・旅行会社18名、学校関係者10名
内 容：宮崎の素材・体験メニュー説明、学校関係者による事例発表、各県対面式相談会
- ③ 九州7県合同修学旅行説明会・相談会（名古屋会場）
期 日：平成25年8月7日
会 場：愛知県名古屋市「ホテル名古屋ガーデンパレス」
主 催：九州観光推進機構
参加者：九州7県31名（宮崎4名）、運輸・旅行会社26名、学校関係者20名
内 容：宮崎の素材・体験メニュー説明、学校関係者による事例発表、各県対面式相談会
- ④ 九州7県合同修学旅行説明会・相談会（東京会場）
期 日：平成25年8月20日
会 場：東京都千代田区「アルカディア市ヶ谷」
主 催：九州観光推進機構
参加者：九州7県37名（宮崎4名）、運輸・旅行会社45名、学校関係者18名
内 容：宮崎の素材・体験メニュー説明、学校関係者による事例発表、各県対面式相談会
- ⑤ 九州7県合同修学旅行説明会・相談会（大阪会場）
期 日：平成25年8月21日
会 場：大阪市「KKRホテル大阪」
主 催：九州観光推進機構
参加者：九州7県40名（宮崎10名）、運輸・旅行会社59名、学校関係者31名
内 容：宮崎の素材・体験メニュー説明、学校関係者による事例発表、各県対面式相談会

⑥ 台湾訪日教育旅行促進現地説明会

期 日：平成25年9月21日～9月26日

会 場：23日台北 24日台中 25日高雄

主 催：J N T O（日本政府観光局）

参加者：6名（宮崎県2名・宮崎市1名・他3名）学校（台北101校、台中82校、高雄81校）

内 容：宮崎県・鹿児島県合同で台湾の学校関係者に対して対面式相談会。修学旅行取扱い旅行会社セールス

(2) 受入対策の推進

1) ホテルの入り口にて「宮崎へ、ようこそ」の横断幕でお出迎え。

2) 来宮された学校に対して、記念樹「椿」とプレートの進呈。

3) 各生徒に対して、宮崎市観光イメージキャラクターミッシちゃんのクリアファイルと、木の葉書（飴肥杉使用）を進呈。

4) 宮崎教育旅行受入協議会会員による「みやざき元気体験プログラム」サーフィン、ボディボード等の実体験

(3) 修学旅行来宮宿泊実績（小中高合計）

平成25年度 30校 2,755名（前年比232.3%）

（平成24年度 17校 1,186名）

公2. 観光客受入体制の充実

1. 研修会等の開催

宮崎市観光従事者研修会

期 日：平成25年12月2日

参加者：150名

場 所：宮崎観光ホテル 東館3階 緋耀の間

講 師：一般社団法人日本トップリーグ連携機構 代表専務理事 前JOC専務理事 市原 則之 氏

公益財団法人日本オリンピック委員会 選手強化本部長 参議院議員 橋本 聖子 氏

演 題：「スポーツの力～オールジャパンで取り組む東京オリンピック～」

2. 渚の交番の整備・運営事業

平成22年6月より、日本財団の支援を受け（特非）宮崎ライフセービングクラブと連携して、宮崎市で多くの観光客が訪れる観光地青島の「安心・安全、きれいで楽しい海づくり」を目指して、各種事業に取り組んだ。

（主な行事）

(1) 渚の交番施設視察受入

期 間：平成25年4月～平成26年3月

参加者：4件 45名（鹿児島県日置市・神奈川県葉山町・三重県志摩市他）

(2) 青島海岸美化作業参加（宮崎市観光課・建設業協会主催）

期 間：平成25年11月1日・7日・21日・22日

(3) おしるこの振る舞い「渚の三が日」を開催

期 間：平成26年1月1日～3日

参加者：800名

(4) 青島街市

期 日：平成26年3月30日

会 場：青島折生迫広場（旧橋ホテル跡地）

来場者：1,200名

(5) 平成25年度渚の交番運営委員会開催

第1回：平成25年7月12日

第2回：平成25年11月8日

第3回：平成26年3月25日

3. レンタサイクル事業

KITENビル1階の「スポーツプラザ宮崎 JERSEY」にて、観光客や市民、ビジネスマン向けにレンタサイクル事業を行った。レンタサイクルマップ「ゆるちやりMAP」に市街地から一ツ葉エリア、青島エリアまでの地図を新たに掲載し、回遊性や利便性を高めた。

利用料金：300円（5時間以内）500円（5時間超1日乗り放題）

年間利用者数：856名

4. 外国人観光客向けバスカード「VISIT MIYAZAKI BUS CARD」事業

宮崎市とその周辺のエリア内路線バスが平日・週末に関わらず1日1,000円で乗り放題になる「VISIT MIYAZAKI BUS CARD」事業を実施した。

韓国語・台湾語・英語のパンフレットをもとにPRした。

利用枚数：2,026枚

販売先：宮崎駅バスセンター	402枚
宮崎市観光案内所	803枚
宮崎空港案内所	168枚
ANAホリデイ・インリゾート宮崎	124枚
シェラトン・グランデ・オーシャンリゾート	529枚

5. おもてなしボランティア事業

全国的に神話に対する関心が高まりガイドの知識とスキルもより高いものが求められ、記紀編さん関連ツアー等が造成されるなか、神話・観光ガイドボランティアの一層の育成に努め、観光客の受け入れ態勢の充実を図った。昨年に引き続き、神話めぐりバスツアーなど記紀編さん1300年関連事業へのガイドボランティアの派遣依頼も多くあった。

また、新たな魅力を発信するため、古代の律令時代に物資及び手紙の運搬をするために日向国に作られた16の駅の内の一つ「江田駅」があったとされる江田神社の森の一角に、「古代の江田駅跡」標示板を作成し、江田神社へ寄贈・設置を行った。

ボランティア登録数52人（平成26年3月31日現在）

6. 観光インフォメーション管理運営事業

観光客の受け入れ態勢の充実と利便性の向上を目的に、観光案内所の運営をはじめ神話・観光ガイドボランティア事業の充実に努めた。

(1) 観光案内所の運営

① 宮崎市観光案内所	観光案内件数	43,308件（前年比105.5%）
	※前年度	41,019件

1) 宿泊施設有料案内：314組（510名）

2) ビジットミヤザキバスカード・宮崎交通バスカード等の販売3種類：3,249枚

3) 物販等：青島恋旅、観光名刺、天孫降臨ヒムカイザーDVD、ひむか神話伝説、ミッシェルパスポート

4) 観光案内所看板の多言語化（日本語・英語・韓国語・中国語）

5) 翻訳機導入（英語・韓国語・中国語・ポルトガル語・スペイン語等の外客へ対応）

② 青島インフォメーション	ガイド案内件数	328件（前年比94%）
	※前年度	350件

③ 江田神社待機所	ガイド案内件数	571件（前年比104%）
	※前年度	548件

7. 「みやざきミッシェルパスポート」事業

宮崎市及び周辺の観光素材の掘り起しと、地域連携を図ることを目的に宮崎県央地域観光リゾート推進会議より委託を受け、宮崎市・西都市・日南市・綾町・国富町の3市2町の観光教育施設27ヶ所を対象にしたパスポートを作成し、市内各ホテル旅館、観光施設、旅行会社で販売を行った。

販売実績：548冊（大人：511冊・小人：37冊）

8. 国際観光船歓迎事業
宮崎港に設置するミッシちゃんの歓迎看板の設置及び手旗の作成を行った。

公3. 印刷物及びテレビ・雑誌・新聞による情報発信の推進

1. 旅行代理店・旅行雑誌編集者等の招待事業（青島再生対策事業含む）
- (1) 青島招聘事業では11社、28名の旅行会社に参加頂いた。青島・日南の新しい観光素材や魅力をPRするため、下記の取組みを実施した。
- 期 間：平成25年9月26日～27日
- ① 平成26年度上期商品説明会及び、青島、日南の観光スポット、体験メニュー、食、イベント等の紹介
 - ② 青島地区のホテル、飲食店を視察
 - ③ 青島パークゴルフ、加江田溪谷散策、神話観光コースを体験
 - ④ 青島の日の出及び青島神社正式参拝
 - ⑤ 早朝ヨガの体験
 - ⑥ 日南地区においては観光地の視察、昼食としてかつお炙り重、飴肥食べ歩き等を行った。
- (2) MICE in MIYAZAKI キーパーソン招聘
- 期 間：平成26年3月11日～12日
- 内 容：JTB法人セールス担当者23名を受入対応し、宮崎市のスポーツ施設や観光素材を提案した。
2. その他誘客対策等
- フローランテ宮崎イルミネーションイベントとの誘客連携事業をはじめ、各種イベント、行事への支援を通し本市への活動及び成果の拡大を図り地域振興に努めた。
3. 旅行雑誌等への広告掲載
- 宮崎の観光情報及び広告を「まっふる情報誌」、「温泉博士」、「みちくさ」、「読売ファミリー」、「すばいす」等に掲載した。
4. 新聞等への広告掲載
- 年間を通して当協会の主要事業及び観光情報について、各新聞（朝刊）スポーツ紙に掲載した。
- 掲載紙：宮崎日日新聞、読売新聞、朝日新聞、毎日新聞、スポーツ報知新聞、日刊スポーツ新聞等
5. 関東地区情報発信・中部地区情報発信・関西・中国地区情報発信・九州地区情報発信
- 宮崎市で行われる「みやざきグルメとランタンナイト」、「みやざき青島国際ビールまつり」、「モク・オ・ケアヴェ・インターナショナル・フェスティバル」等の各種イベント及び「みやざき元気体験」をセールスツールに、宮崎県や出先機関と連携し誘致宣伝活動を実施した。
- (1) 九州地区誘致セールス
- ① 鹿児島地区
期 間：平成25年5月8日～9日
 - ② 熊本地区
期 間：平成25年5月9日～10日
 - ③ 福岡地区
期 日：平成25年5月20日
 - ④ 大分地区
期 間：平成25年6月3日～4日
- (2) 関東地区誘致セールス
- 期 間：平成25年6月10日～11日

(3) 花の都みやざき（フラワーマンス）事業

1年の中で宮崎の花が最も美しい3月～6月の間に、空・海・陸の玄関を花で飾って観光客を出迎えるなど、花いっぱいの宮崎市を全国にアピールするためのイベント「みやざきフラワーマンス2014」の配布用の花の種・ポスター・チラシの製作費への協賛を行った。

(4) メディア活用

① ジャイアンツタウンみやざき及びジャイアンツキャンプの取材が行われた。

日本テレビG+ 平成26年2月1日～13日（キャンプ期間）

〃 徳光和夫の週刊ジャイアンツ

日本テレビ ズームインサタデー ジャイアンツキャンプ特集

〃 G O i n g ジャイアンツキャンプ特集

フジテレビ すぽると ジャイアンツキャンプ特集

② 北部九州集中キャンペーン

福岡市内のTV局が制作する生活情報の中で、宮崎のキャンプ情報発信を継続的に実施した。

FBS福岡放送「夢空間スポーツ」ホークスキャンプ特集

KBC九州朝日放送「アサデス」と行くホークス応援ツアー 参加者約500名

RKB毎日放送ラジオ Snappyホークスキャンプ中継

RKB毎日放送ラジオ 開店！ウメ子食堂ホークスキャンプ中継

6. 海外情報発信

韓国・台湾におけるセールスプロモーション時に、「ウェルカム エンジョイ ミヤザキ パスポート」、
「VISIT MIYAZAKI BUS CARD」についてのPRと利用の促進に努めると共に、各代理店の旅行誌ほか、
新聞広告及びテレビ等を通し本市の観光情報を発信した。

7. ホームページ情報事業

事業情報内容の充実とともに、より広く宮崎市を紹介し、観光客への利便性を考え、ホームページレイアウトの一部変更を行った。またさまざまな携帯端末の普及に伴い、スマートフォン・タブレット端末への対応を行った。

年間アクセス数：約250万件

宿泊予約サイトホテル掲載数：59件 予約件数：429件

対応言語：日本語 英語 韓国語 繁体字 簡体字

8. 福岡ヤフードーム観光情報発信

（現：福岡ヤフオクドーム）

福岡ソフトバンクホークスキャンプ地宮崎を福岡ヤフオクドームの野球観戦者に対して、宮崎の観光情報をホークスビジョンで放映し、視覚的な効果を図りながら観光客誘致を推進した。

期 間：平成25年4月1日～平成26年3月31日

内 容：ヤフオク内ホークスビジョン及びテレビモニターにおいて、球場来場者向けに宮崎市の観光情報を発信した。

9. 大型ビジョン導入・活用

読売巨人軍の春季キャンプ期間中、キャンプ地の飲食物ゾーン「ボールパークG」内に150インチの大型ビジョンを2基設置。効率良いキャンプ観戦の為、リアルタイムでの練習情報発信等に活用した他、観光情報やスポーツランドみやざきをPRするDVD放映を行った。

期 間：平成26年2月1日～13日

10. 宮崎サンシャインレディ観光PR事業

第31代宮崎サンシャインレディの任期が終了するため、第32代宮崎サンシャインレディの募集、選考会を行った。

(1) 第32代宮崎サンシャインレディ募集

募集期間：平成25年4月15日～6月10日

告知：募集チラシ（1500部）、ポスター（150部）作成・掲示

MRTRラジオスポットCM、「恋ラジZ」出演、「アップレ Miyazaki」出演

(2) 第32代宮崎サンシャインレディ選考会

① 第一次書類審査

期 日：平成25年6月13日

会 場：みやざき県民協働支援センター

応募者数：37名

書類審査合格者：15名

② 最終選考会

期 日：平成25年6月22日

会 場：みやざきアートセンター

最終合格者：「第32代宮崎サンシャインレディ」3名を決定

(3) 研 修

① メイク・マナーアップ講座

期 日：平成25年7月10日

講 師：シャネル 須藤 絵里 氏

宮崎山形屋 藤田 歌子 氏

② マナー&スピーチスキルアップ講座

期 日：平成25年7月19日・7月26日

講 師：Happy Smile Create 長友 まさ美 氏

③ 観光研修

期 日：平成25年7月26日

講 師：宮崎交通 西 智子 氏

(4) 派遣回数

期 間：平成25年4月1日～平成26年3月31日

派遣回数：161回（宮崎サンシャインレディ155回／宮崎観光親善レディ6回）

11. 観光誘致宣伝物作成事業

観光案内所をはじめ、各施設、インフォメーションや観光客に配付するパンフレット等を作成し、誘致宣伝に広く活用した。また、宮崎市の誇る景勝地「青島」の更なるPRを図るため、青島の日の出をテーマにしたポスターを作成した。

(1) 総合観光パンフレット（日・英・韓・中・台）	88,000部
(2) みやざき湯めぐり味めぐり	10,000部
(3) みやざき ゆるちやりMAP	5,000部
(4) みやざきの神話	35,000部
(5) 神話バージョンペーパーバッグ（大・小）	3,000部
(6) ポスター（青島の日の出）	300部

12. カレンダー他

「宮崎市の魅力再発見」をテーマに、新しい視点で見た四季折々の写真を盛り込んだカレンダーを作成した。

発行部数：1,000部

1 3. 宮崎市観光イメージキャラクターグッズ制作事業

「自然」と「神話」と「食」の宝庫宮崎市PRキャラクターの「ミッシちゃん」を通じて、宮崎の魅力県内外に発信する事を目的とし、宮崎市内外で開催するさまざまなイベントに参加した。また県外での物産展・観光キャンペーンなどはもとより、twitterやフェイスブックでの情報発信を頻繁に行った。

宮崎市観光イメージキャラクター「ミッシちゃん」の主な関連作成物

ミッシちゃんペーパーバック 2, 000枚

ミッシちゃん木製はがき 800枚

ミッシちゃん3色ボールペン 3, 500本

1 4. 宮崎空港内看板掲出事業

宮崎空港の到着ロビー内のカラーコルトン看板に、宮崎の観光地を紹介し、各季節に合わせたイベント等に関連した看板を掲出することで、その時期に合わせた観光ムードの創出をはかり歓迎ムードを盛り上げた。

3月～5月：宮崎リゾート温泉「たまゆらの湯」・青島温泉「出愛の湯 伝説の温泉」

6月～7月：モク・オ・ケアヴェ・インターナショナル・フェスティバル日本大会 in 宮崎

8月～9月：サーフィン

10月～11月：みやざきゴルフマンス

12月：「神話」「自然」「食」の宝庫、宮崎

1月～2月：みやざきキャンプマンス

1 5. 観光名刺印刷

魅力ある宮崎の観光地を全国に発信するため、宮崎が誇る景勝地・青島の名刺台紙を新たに作成し販売を行った。

販売価格：350円（100枚）

販売実績：269個

販売場所：宮崎市観光協会、宮崎市観光案内所、宮崎市庁友会

1 6. 機関紙

機関紙（Mコミュニケーション）の発行（年6回）

No.106（5月）・No.107（7月）・No.108（9月）・No.109（11月）・No.110（1月）・No.111（3月）

1 7. 「宮崎たべてん！」作成

宮崎の特産品の紹介並びに地域経済へ貢献するために、キャンプマンスやゴルフマンス期間中、来宮した観光客を対象とした無料のクーポンブックを作成し配布した。ホームページの充実を図りスマートフォンやタブレット端末でも閲覧できる電子ブック版も作成した。

配布期間：平成25年10月1日～1月31日 発行部数 6万部

平成26年 2月1日～3月31日 発行部数 8万部

1 8. まつり交流事業

各都市で開催される「まつり交流事業」に宣伝隊や宮崎サンシャインレディを派遣し、観光キャンペーン及び観光誘致宣伝を展開し、宮崎市の観光PRを行った。

(1) 「第52回 博多どんたく港まつり」観光誘致宣伝

平成25年5月3日～4日 福岡市 (約220万人)

(2) 「第12回 檜原夢の森フェスティバル」

平成25年10月12日～13日 檜原市 (約8万2千人)

(3) 「第62回 鹿児島おはらまつり」観光誘致宣伝

平成25年11月2日～3日 鹿児島市 (約26万人)

(4) 宮崎市観光イメージキャラクターミッシちゃん参加の実績

- ① 博多どんたく港まつり 平成25年5月3日 (1日間)
- ② 櫃原夢の森フェスティバル 平成25年10月12日～13日 (2日間)
- ③ 鹿児島おはらまつり 平成25年11月2日～3日 (2日間)

19. 観光インバウンドプロモーション事業

定期便が運行する韓国・台湾を中心に、友好盟約都市である中国青島市等、外国人観光客の誘致をするため、様々なセールスプロモーションに参加し「観光宮崎」の誘致宣伝に努めた。

(1) 台湾

① 台北でのセールスプロモーション

期 間：平成25年7月31日～8月3日

内 容：宮崎県観光業界で誘致団を結成し、中華航空台北支店及び南九州（宮崎）ツアー販売の旅行会社を訪問。旬の観光情報を提供し、旅行商品の造成及び誘客促進を働き掛けた。

② 台湾訪日教育旅行促進現地説明会・セールス

期 間：平成25年9月21日～9月26日

会 場：台北（23日）、台中（24日）、高雄（25日）

主 催：JNTO（日本政府観光局）

参加者：6名（宮崎県2名・宮崎市1名・他3名）学校（台北101校、台中82校、高雄81校）

内 容：宮崎県・鹿児島県合同で台湾の学校関係者に対して対面式相談会や修学旅行取扱い旅行会社セールスを実施した。

③ まつりイン台湾・ジャパントラベルフェア

期 間：平成25年12月5日～12月8日

会 場：高雄

主 催：まつりイン台湾実行委員会・近畿日本ツーリスト

参加者：4名（事務局職員2名 近畿日本ツーリスト職員2名）

内 容：まつりイン台湾会場にて観光PR及びステージでのPR、ジャパントラベルフェア会場にて台湾旅行会社（34社）に対し、宮崎市の観光素材の説明を行った。

(2) 中国（山東省青島市）交流事業

① みやざき青島国際ビールまつり

期 間：平成25年8月24日～25日

会 場：こどものくに

内 容：中国・青島市旅游局との観光友好盟約締結（H16. 8. 17）に伴う交流事業として青島市旅游局の関係者を招待し、本市の観光地の青島や「みやざき青島国際ビールまつり」の紹介をするるとともに観光関係者との交流を深めた。

来場者：約10,000名

② ホテルマン交流

期 間：平成25年7月1日～9月27日

会 場：青島グランドホテル・ANAホリデイ・インリゾート 宮崎・青島サンクマール

内 容：中国からの5名のホテル関係者が、日本からのお客様に対応できるよう日本語研修・マナー研修をはじめホテルマンとして必要な研修を青島地区のホテルにおいて実施。

(3) 韓国

韓国からの旅行者に対し、「ウェルカム エンジョイ ミヤザキ パスポート」や宮崎市内の公的観光施設や「VISIT MIYAZAKI BUS CARD」を活用した旅行商品を造成し、誘客を図った。又「みやざきミッシパスポート」を旅行会社へ提供し、パスポートの知名度アップと周遊プランの充実を図った。

① 韓国セールス（ソウル市）

期 間：平成25年8月21日～23日

参加者：5名（宮崎市・事務局職員）

内 容：韓国からの旅行者の誘客を図るため、旅行会社を訪問及び説明会を開催し、みやざきミッシパスポートのセールスや、観光商品開発の協議を行った。

(4) ウェルカム エンジョイ ミヤザキ パスポートの発行

韓国、台湾からの定期便の利用促進及び誘客策として、みやざき観光コンベンション協会からの助成を受け、宮崎市フェニックス自然動物園・フローランテ宮崎・こどものくに・スポーツプラザ宮崎 J E R S E Y レンタサイクルの内1施設を無料で利用できる「ウェルカム エンジョイ ミヤザキ パスポート」を2,000枚作成し、海外からの一般観光客に無料配布を行いより宮崎市を楽しんでもらうツールとして発行した。

利用実績：1,800冊

20. 海外他友好都市交流事業

期 間：平成25年12月22日～25日

場 所：韓国ソウル市

内 容：宮崎県日韓親善協会及びソウル・ジャパン・クラブ、アジアナ航空等を訪問し、相互の親善と一層の交流促進の依頼を行った。

21. 宮崎体験旅行誘致活性化事業

(1) みやざき元気体験プログラム

宮崎の魅力を再発見してもらうことを目的に、宮崎ならではの豊かな自然や伝統、文化を取り入れた魅力あるプログラムを提供した。

プログラム数：33プログラム

① みやざき元気体験プログラム意見交換会及びインストラクター研修会

期 日：平成25年12月11日

参加者：14名（意見交換会）、17名（研修会）

内 容：意見交換会：意見交換会及び受入実績と受入予定についてなど

研 修 会：東京より坂上 正純氏を講師として招き、「人の心の掴み方」をテーマに会話の大切さを学ぶワークショップを行った。

② みやざき元気体験プログラムパンフレット

既存の内容に、学習のポイント・インストラクターのコメントや写真など掲載し、体験プログラムに加え、宿泊施設情報一覧・交通案内・食事案内・宮崎市及び宮崎市周辺の観光スポット・モデルコースなどを盛り込んだパンフレットを旅行会社や学校へ、セールス時の配布や送付用のツールとして活用した。

(2) 受入実績

みやざき元気体験

① 修学旅行 平成25年度 6団体 484名（前年比308.3%）
（平成24年度 4団体 157名）

② 個人・団体 平成25年度 28組 107名（前年比84.2%）
（平成24年度 34組 127名）

22. 記紀編さん1300年記念事業

2012年の古事記編さん1300年から2020年の日本書記編さん1300年までを記紀編さん1300年と位置づけ、「日本をはじめた神々の国 宮崎」をキャッチフレーズとした様々なPR事業や誘客事業、イベントを展開した。

(1) 観光神楽事業

① 秋のみやざき神楽

宮崎県最大級のお祭りである「神武さま」には県内外からも多くのお客様がお見えになる。そこで、県内外のお客様へ宮崎の伝統文化である神楽の魅力を楽しんで頂けるようなイベントを開催し、神楽・神話への関心を高め、また、宮崎神宮大祭の前日に開催することで「神武さま」への気運上昇を図り、本祭への誘客に努めた。

主 催：公益社団法人宮崎市観光協会

協 力：宮崎駅

期 日：平成25年10月25日

場 所：宮崎駅西口広場

参加費：無料

内 容：神楽の魅力紹介、体験、神楽奉納 題目「八岐大蛇」日向橘寿獅子七人衆

観客数：約300名

② 青島神社 裸参り神楽

全国的にも珍しいお祭りである「青島神社 裸参り」には県内外からも多くのお客様がお見えになる。そこで、県内外のお客様へ宮崎の伝統文化である神楽の魅力を楽しんで頂けるようなイベントを開催し、神楽・神話への関心を高めると共に、青島地区のホテルとタイアップし、宿泊プランを造成し、県外客の誘客に努めた。

主 催：青島裸まいり実行委員会

協 力：青島神社、公益社団法人宮崎市観光協会

期 日：平成26年1月12日

場 所：青島神社境内

参 加 費：無料

内 容：神前神楽・青島神楽・野島神楽（演目の次第を作成し配布）

ふるまい：先着100名様へ甘酒（ノンアルコール）・青島てんぷらのふるまい

観 客 数：約100名

(2) 神話ラッピング事業

大型バスに神話のラッピングを施し、県内外のお客様の関心を高め、記紀編さん1300年の気運を高めた。

台 数：高速バスフェニックス号1台 宮崎～福岡
宮崎市内路線バス1台（宮崎神宮路線メイン）

委 託：宮崎交通

期 間：平成25年9月15日～

乗客数概算：合計32,024名（高速バス8,097名、路線バス23,927名）

(3) ご東遷キャンペーン事業

平成25年度は、伊勢神宮・出雲大社において遷宮が行われ、多くのメディアに取り上げられ、大いに盛り上がった。そこで、宮崎を出雲や伊勢、橿原に並ぶ、神話発祥の地としてキャラバン隊を結成し、キャンペーンを行うことで、本市訪問への動機づけを行い、各関連地域との連携構築に努めた。

古事記の出発点宮崎から橿原への神武ご東遷の道をPRし、神話の出発点から橿原神宮、そしてその後に伊勢、出雲への日本人の古事記に沿った歴史を辿る旅行の提案を行った。

この神武東征キャンペーンを通して全国の皆様に古の時代、日本の国を築いた神武天皇ご東遷の道のりを知って頂き、日向神話をきっかけに宮崎への誘客に繋がる様提案した。

目 的：宮崎の神話スポットや「宮崎神宮大祭」をPRする。

神武ご東遷ゆかり地域との連携を図り、新たな神話めぐりの観光ルートづくり

期 間：平成25年9月15日～21日

参加者：17団体28名

(4) バスツアー支援

宮崎県と共催で、「記紀編さん1300年」を記念するバスツアーを通して県外客の誘客を図るとともに、日向神話に対する気運上昇を図った。当協会としては、ボランティアガイド費用の負担等の協力を行った。（宮崎・西都コースのみ負担）

名 称：神話巡りバスツアー ～神話を感じる「時の旅」～

料 金：1,980円（昼食付）

実 績：1,689名

(5) 古事記アプリ事業

平成24年度に導入した観光ソーシャルスマホアプリ「神☆コレ」は、スタンプラリー機能とソーシャルメディアによる情報発信機能を備えている。本年度は、情報発信による利用促進を図り、神話スポットへの周遊性とSNSによる口コミでの情報発信を促し、デジタル世代に対して神話の魅力発信するツールとして活用した。

設置場所：49キャラクター60か所

利用実績一覧：平成26年3月末時点

アプリユーザー数：5,585名（今年度増 +103名）

総ダウンロード数：9,460名（今年度増 +2,404名）

エリア別利用者分布図：1位東京都、2位宮崎県、3位大阪府

(6) 特設ホームページ拡充支援事業

平成25年度から平成32年の日本書紀編さん1300年を見据え、記紀編さん1300年事業として神話関連の情報を集約したホームページを制作・拡充する。「日本をはじめた神々の国宮崎」をキーワードとして、各神様ごとのゆかりの地を宮崎市のみならず、宮崎県内の情報も網羅し、利用者に分かりやすく紹介し、利用促進を図った。また、神話に関連するボランティアガイドの情報など関連コンテンツをTOPページに配置し、スマホでの検索等でも利用しやすい工夫を凝らした。

(7) 宮崎神宮大祭神々のパレード

記紀編さん1300年記念事業として、神武天皇より前の主な神々に扮し、宮崎神宮大祭の神賑行列に参加される方を全国から募集することにより、「日本をはじめた神々の国宮崎」の魅力为全国へ発信するとともに、日向神話の気運上昇に努めた。

募集した神様12柱：

イザナミノミコト、スサノオノミコト、ニニギノミコト、ホデリノミコト（海幸彦）

ホオリノミコト（山幸彦）、ウガヤフキアエズノミコト、イザナミノミコト、

アマテラスオオミカミ、コノハナサクヤヒメ、トヨタマヒメ、タマヨリヒメ

ツクヨミノミコト（今年度新登場）神々のパレード

応募総数：55名（1都2府10県1海外）

(8) 神武様広場

神武様広場において、記紀編さん1300年宮崎市スペシャルステージを開催し中心市街地への賑わいの創出と県内外からの誘客に努めた。

開催日時：平成25年10月26日 19時30分～20時50分

場 所：神武さま広場 駅前ステージ

内 容：天尊降臨ヒムカイザー、ミッシちゃん新衣裳お披露目、響座によるスペシャルステージ（新曲披露）、せんぐまき、神話のふるさと大型ランタンの展示、松江市と共に観光PRブースを設置

観 客 数：約5,000名

(9) 賑わい創出事業（神話バナー掲出ほか）

平成32年まで継続予定の記紀編さん1300年記念事業の気運上昇と県内外への情報発信、中心市街地への賑わいの創出を目的として各種装飾と情報発信を行った。

①神話バナーの掲出

設置期間：平成25年4月～平成26年3月

設置場所：橘橋～江平商店街

2.3. 誘致活動事業

スポーツ誘致の推進に係るプロ野球・Jリーグ及び各種社会人のスポーツ団体をはじめ、東京五輪開催に係るオリンピック強化協議の合宿誘致、又、東九州自動車道の宮崎～北九州市間の開通を見込み、各方面との連携を図った誘致活動などあらゆる機会を捉え、誘客に繋がる事業展開を行った。

公4. 観光諸行事・イベント・観光団交流事業の実施及び支援

1. 行事負担金

第27回青島太平洋マラソン大会

冬の宮崎の恒例イベントとして定着をしており、『スポーツランドみやざき』を宮崎県と一体となって推進した。宮崎市を中心市街地を疾走できるコースとして人気を要し、近年のランニングブームなどに伴い、全国的にも人気の大会として定着。

同時開催：第22回国際視覚障害者マラソン宮崎大会

期 日：平成25年12月8日

コ ー ス：フルマラソン・10km・3km

参 加 者：約11,600名

2. みやざき青島国際ビールまつり

平成20年度まで中国青島(チンタオ)市との観光友好盟約締結イベントとして実施していたが、平成21年度からは毎年7月開催の地元を中心とした「あおしまサマーフェスティバル」と統合した。

また、青島市から3名を招聘し、メインステージにて観光友好盟約セレモニーを開催した。

期 間：平成25年8月24日～25日

会 場：こどものくに

来場者：約10,000名

3. 第8回モク・オ・ケアヴェ・インターナショナル・フェスティバル日本大会事業

オフシーズン対策として、南国ムードを最大限に活かした誘客対策の一つとして第8回目となるフラの大会を開催し、新たな観光資源の創出と定着を図った。

また、ジュニア育成と国際交流を目的として、住吉南小学校を大会監修であるナニリムヤップが訪問し、こどもたちと交流を図ると共に、本大会会場シーガイアコンベンションセンターで宮崎とハワイのグルメフェスティバルを同時開催し、誘客に繋げた。

期 間：平成25年7月6日～7月8日

会 場：シーガイアコンベンションセンター・宮崎観光ホテル

参加者：約7,020名(関連イベント参加者含む)

内 容：コンペティション(競技会)、エキジビション(発表会)、ワークショップ、ホイケナイト他

○コンペティション・ワヒネ グループ7チーム(65名)、ソロ7組(7名)

○コンペティション・マクア マクアソロ8組(8名)

○コンペティション・クプナ グループ9チーム(102名)、ソロ7組(7名)

○エキジビション 33チーム(432名)

○フラ・イ・ケ・アオ 5チーム(42名)

○ワークショップ 170名

○ホイケナイト 176名

○パネルディスカッション 72名

○住吉南小学校 国際交流 小学5年生100名参加

○宮崎ハワイアングルメフェスティバル シーガイアコンベンションセンター 約2,300名

○奉納フラ 青島神社(ナーレイ・アロハ・カウ・イカベキウ)参加28名

○アロハステージ みやざきアートセンター太陽の広場5チーム(45名) 観覧者数約150名

○アロハガーデンステージ 宮崎空港アロハガーデン8チーム(81名) 観客数約400名

4. みやざきグルメとランタンナイト

夏休み期間中の誘客対策として、フローランテの夕涼みをグレードアップし3度目の開催。“日本一”をテーマに宮崎牛はもちろん、日本全国から延べ約60店舗が出店した「全国グルメ博2013」を開催。宮崎出身の有名シェフも参加し会場を盛り上げた。また、ちびっこお祭り広場の運営やステージイベントも実施し、連日多くのお客様で賑わった。

期 間：平成25年8月2日～18日（17日間）

会 場：フローランテ宮崎

来場者：80,934名

主 催：みやざきグルメとランタンナイト実行委員会（事務局：宮崎市観光協会）

5. みやざきふるさと食材アピール事業

本市の質の高い農林水産物の消費拡大及び裾野の広い食に関する産業の活性化を図ることを目的に昨年「ガチ旨宮崎グルメバトル2012」でグランプリに輝いた鶏のゆずこしょう焼きそばのPRや、みやざきグルメとランタンナイトで宮崎市出身の中原弘光氏による宮崎の食材を使用した限定プレートの販売を行った。

○鶏のゆずこしょう焼きそばお土産用商品の販売に伴う知事・市長表敬

期 日：平成25年4月12日

○銀座イタリアンシルベラードによる「みやざきグルメとランタンナイト」への出店

期 間：平成25年8月2日～18日

○MR T感謝祭「ご当地グルメコンテスト2013」への鶏のゆずこしょう焼きそば出店

期 日：平成25年8月24日

○「宮崎たべてん！」での鶏のゆずこしょう焼きそばPR

配布期間：平成26年2月1日～3月31日

○福岡ソフトバンクホークス・読売巨人軍春季キャンプでの鶏のゆずこしょう焼きそば出店

期 間：ホークスヴィレッジ：平成26年2月1日～2月27日

ボールパークG：平成26年2月1日～2月13日

○日本全国!!地元めしフェス“クォーゼイ” in日比谷への出店

期 間：平成26年3月20日～3月23日

6. 新規開発事業（神話出版）

昨年、古事記編さん1300年を記念して、宮崎市神話観光ガイドボランティア協議会と連携し神話のふるさと宮崎に伝わる神話伝説をとりまとめた「日向の神話伝説の全て」を作成・出版し、今年度より「宮崎市観光案内所」にて販売を行った。

販売冊数：20冊

販売価格：1冊 1,680円

7. 観光団交流事業

(1) 姉妹都市「橿原市」との交流

観光訪問団派遣 平成25年4月7日～9日 橿原市ほか 参加者37名

観光訪問団受入 平成25年10月25日～28日 宮崎市 観光団30名

(2) 友好盟約「旭川観光協会」との友好盟約による交流

観光訪問団派遣 平成25年6月26日～29日 旭川市ほか 参加者27名

8. 大型野外コンサート支援事業

(1) 「FREEDOM aozora 2013九州」受入支援

本コンサートは、2010年に宮崎県全体に大きな被害を受けた「口蹄疫」からの復興の願いを込めてスタートした元気な宮崎をアピールする為に企画されたイベント。当協会は、会場の確保、地元住民向けの説明会、協会会員へのアンケート調査等を行った。

期 日：平成25年9月7日

場 所：宮崎市生目の杜運動公園 多目的グラウンドB

観客数：約13,000名

公5. スポーツ関連事業

1. スポーツキャンプ合宿誘致受入事業

本市観光振興策の中核を担うスポーツ合宿、大会の誘致を図ることを目的に、全国の各種スポーツ団体などを対象とした合宿受入・誘致セールスを行い、スポーツランド宮崎の振興を図った。

- (1) ジュニアユースサッカーなど各種大会を開催
- (2) 大学・社会人野球チームなど各種スポーツ団体の合宿受け入れ
- (3) 大会・合宿セールス事業の支援
- (4) 特産品による激励

実 績：スポーツ合宿贈呈数	124団体 (6,538名)
大会参加者	14大会 (4,475名)
合 計	11,013名

2. スポーツ観光セールス事業

(1) ジャイアンツキャンプ地みやぎきウィーク事業

東京スカイツリーに隣接する東京ソラマチ内にある全国唯一のジャイアンツオフィシャルストアにてタイアップイベントを実施。キャンプ期間中のみならず、ジャイアンツとの連携及び相互協力関係をさらに深めると共に、宮崎への誘客を図るため、リーフレットの配布や観光PRブースを設置し宮崎のPRを行った。

期 間：平成25年6月3日～9日

会 場：東京ソラマチ内 イベントスペース・ジャイアンツオフィシャルストア

内 容：PRリーフレット等のサンプリング配布、宮崎特産品が当選する抽選会、観光PRブースの設置

(2) Jリーグキャンプ地PR事業

宮崎市でキャンプを行っていただいているチームの本拠地にて「キャンプ地みやぎきスペシャルマッチ」を実施。観戦客への先着プレゼントやパンフレットの配布、オーロラビジョンを使用した観光映像の放映等を通じて「キャンプ地みやぎき」のイメージアップを図った。

① アビスパ福岡

期 日：平成25年7月14日

試合会場：レベルファイブスタジアム

カ ー ド：アビスパ福岡 VS 栃木SC

結 果：2 対 0

入場者数：4,892名

② 横浜F・マリノス

期 日：平成25年7月31日

試合会場：日産スタジアム

カ ー ド：横浜F・マリノス VS 柏レイソル

結 果：1 対 1

入場者数：20,294名

(3) スポーツセールス事業

清武総合運動公園の施設整備に合わせ、プロ野球キャンプの誘致活動などを実施。また、球春みやざきベースボールゲームズの開催に向けて下記の球団へ参加を依頼した。

- ・読売ジャイアンツ・福岡ソフトバンクホークス・東北楽天ゴールデンイーグルス
- ・千葉ロッテマリーンズ・埼玉西武ライオンズ・東京ヤクルトスワローズ
- ・韓国斗山ベアーズ

3. みやざきゴルフマンスキャンペーン事業

ダンロップフェニックストーナメントとLPGAツアーチャンピオンシップリコーカップの2大トーナメントが開催される11月を「ゴルフマンス」と銘打ち、各トーナメントと連携しながら宮崎への誘客を図った。昨年度より3月末に「アクサレディスゴルフトーナメント」が開催され、より多くのゴルフ観光客を取り込む目的でツアー特典期間を3月末日まで特典期間を延長した。ゴルフマンスキャンペーンでは宮崎市近隣19のゴルフ場と連携し、多くのゴルフ場を楽しんでもらおうとスタンプラリーを企画し、3,058通の応募があった。また、JA宮崎中央ファン拡大事業と連携し、両トーナメントへ果物の差し入れを実施した。その他、宮崎牛の素晴らしさを知っていただくとう宮崎牛振舞いPR企画を実施「ダンロップフェニックストーナメント」期間中には口蹄疫復興義援金のお礼として「ザ・レジェンドチャリティプロアマトーナメント実行委員会」へ感謝状の贈呈を行った。

ゴルフマンスキャンペーン期間：平成25年10月1日～平成26年1月31日

ゴルフマンスツアー特典期間：平成25年10月1日～平成26年3月31日

(1) ダンロップフェニックストーナメント

宮崎空港オアシス広場にて前年度優勝者ルーク・ドナルド選手への歓迎セレモニーを実施し、歓迎挨拶や花束の贈呈を行った。

ギャラリーサービスの向上を図り、宮崎市こどもふれあい広場の運営と歓迎装飾を主とした事業を実施した。また40周年記念大会ということで、北・南バイパスへのフラッグを設置や宮崎牛のふるまいを行い、気運上昇を図った。

期 間：平成25年11月21日～11月24日

宮崎市こどもふれあい広場利用者数：3,354名

わくわく探検ツアー参加者：19名

託児所利用者：13名

総観客数：16,833名（前年度18,473名）

(2) LPGAツアーチャンピオンシップリコーカップ

トーナメント会場となる宮崎カントリークラブ周辺に歓迎バナー・看板等を設置すると共に、ギャラリーサービスの充実をはかった。開催前日には宮崎牛の振舞いなどを行った、大会告知やイベントへの支援を行い、大会の盛り上げを行った。

期 間：平成25年11月28日～12月1日

総観客数：16,403名（前年度13,946名）

(3) アクサレディスゴルフトーナメント

3月末に開催される女子ゴルフトーナメントにはプロ・アマ合わせ約100名以上選手と関係者やマスコミの方々など多くのお客様が観戦に来られるなど、本大会を通して、宮崎市のゴルフ環境の良さや観光地など情報発信が推進出来るスポーツランド宮崎に相応しい大会であり、歓迎装飾をはじめとした様々な支援活動を行った。

期 間：平成26年3月28日～3月30日

総観客数：10,847名（前年度12,677名）

4. ジャイアンツタウン創出推進事業

ジャイアンツタウンとして宮崎をアピールするため、ジャイアンツバスの運行やキャンプ写真展等を行った。

(1) ジャイアンツバスの運行

通年運行 バス2台

※春季キャンプ中は、キャンプ地内のシャトルバスとして運行

- (2) エアポートボールパーク2014(空港写真展)
期 間：平成26年2月2日～3月2日
内 容：県内で春季キャンプを行うプロ野球5球団の写真展を宮崎空港オアシス広場にて開催
- (3) 歓迎バナーの掲出
期 間：平成26年1月31日～2月28日
内 容：中心街の橋通りアーケード及び江平商店街に掲出
掲出枚数：80枚

5. 観光スポーツイベント歓迎装飾事業

スポーツイベントが開催される期間、市内の主要な道路付近に歓迎看板やバナー・フラッグを設置し、主催者及び宮崎を訪れた観光客に対しイベント開催ムードの醸成及び歓迎を目的に実施した。

また、みやぎきフェニックス・リーグは、開催10回目を迎え、橘橋のバナーをはじめ本数を増やすなど歓迎ムードを高めた。

- (1) 10月：みやぎきフェニックス・リーグ
- (2) 11月：ゴルフマンス
- (3) 2月：プロ野球春季キャンプ
- (4) 2月：球春みやぎきベースボールゲームズ
- (5) 2月：Jリーグキャンプ

6. ソフトバンクホークス受入交通対策支援事業

福岡ソフトバンクホークスのキャンプに訪れるお客様が、安全で便利に観戦できる環境創出を行い、来場者の増加・宮崎キャンプの継続につなげるため経済効果を高めた。

【実施内容】

- (1) 警備（駐車場内、駐車場間誘導等）
- (2) 臨時駐車場の整備
- (3) シャトルバス運行
- (4) キャンプ地の告知、臨時駐車場の広報
- (5) キャンプ期間中のプレハブ、ゴムマットの設置

7. 少年少女スポーツ大会支援事業

- (1) みやぎきフェニックス・リーグ少年少女軟式野球大会

憧れのプロ野球選手が使用するグラウンドでのプレーを通して、他県の少年少女との交流を深め、未来を担う子供たちの健全な育成に寄与する事を目的に実施した。

期 間：平成25年7月26日～28日

試 合 会 場：宮崎市生目の杜運動公園・宮崎県総合運動公園

参加チーム：宮崎県外18チーム(高知県2,山口1,福岡5,佐賀2,熊本4,鹿児島3,大分1)
宮崎県内14チーム

- (2) ゴルフマンス観光推進事業

みやぎきゴルフマンスプレゼンツ第8回宮崎JCカップジュニアゴルフ選手権への支援

みやぎきのゴルフ観光とジュニアゴルファー育成の為、ダンロップスポーツエンタープライズ社とLPGAツアーチャンピオンシップリコーカップ大会事務局からの寄付金により運営。県外からの観光誘客及びジュニアゴルファーの育成を図っている宮崎JCカップジュニアゴルフ選手権へ運営協力金として補助を行った。

期 日：平成25年10月19日

開催コース：宮崎カントリークラブ

大会参加者：154名(県外参加者86名) 大会関係者80名

8. スポーツ合宿等誘致強化事業

恵まれたスポーツ施設を有効に活用するため、関西を中心に大学や社会人の合宿を誘致している。現状は、他県も誘致に力を入れていることから地域間競争が激しい。本市で合宿する団体等へ宮崎県産牛肉又は豚肉を贈呈した。

期 間：平成25年4月1日～平成26年3月31日

贈 呈 品：宮崎県産牛肉又は豚肉

助成用件：1人当たり500円相当（最大2万5千円まで補助）

贈呈実績：113団体（4,450名）

9. みやざきスペシャルゲーム開催事業

東京ドーム、福岡ヤフオクドームにて「みやざきスペシャルゲーム」を開催し、観光パンフレットの配布や球場内ビジョンを活用、宮崎の媒体とも連携し球場一体が「キャンプ地宮崎」と大きくアピールできるようドーム入場者を対象に観光宮崎のPRを行った。

① 福岡ヤフオクドーム「みやざきスペシャルゲーム」

カ ー ド：ソフトバンクホークス VS 中日ドラゴンズ

期 日：平成25年5月19日

結 果：12対4

当日入場者数：32,512名

応援団参加者：200名

② 東京ドーム「みやざきスペシャルゲーム」

カ ー ド：巨人 VS 楽天

期 日：平成25年6月8日

結 果：5対3

当日入場者数：44,993名

応援団参加者：230名

10. スポーツランドみやざき活性化事業

ゴルフ、野球、サッカーとプロスポーツイベントが目白押しとなる11月～3月、来宮者が各スポーツイベントに興味を持ち、会場へ足を運んでいただく一助となることを目的に宿泊者を対象として、主に当該スポーツイベント会場で利用することのできる「スポーツランド宮崎チケット＝1枚1,000円(500円券×2枚)」を発行し、イベントの盛り上げと誘客促進を図った。

参画宿泊施設：24施設

総発券枚数：5,640枚(500円券換算)

清算枚数：5,481枚(500円×5,481枚＝2,740,500円)

収益目的事業

収1. スポーツプラザ宮崎 JERSEY 運營業務

1. 宮崎市スポーツプラザの運營業務

宮崎駅西口拠点施設「KITEN」1階の「スポーツプラザ宮崎 JERSEY」では、プロ野球やサッカー日本代表などの商品の販売やキャンプ地宮崎に関連する展示物等の充実を図り、様々なイベントを実施し、情報発信及び誘客に努めた。またレンタサイクル事業も展開し観光客の利便性向上に努めた。

来 訪 数：19,661人

【平成25年度の主な行事】

5～6月：プロ野球マツダオールスターファン投票箱を設置し、投票の実施。

8月～：スポーツランド宮崎のPRも兼ねて、店内にインタビューボードを設置。観光客だけでなく、地元の方々など多くの方に記念撮影スポットとして利用された。夏休み特別企画で、ガラポン抽選会を行い、集客と盛り上げを図った。

- 9 月：プロ野球クライマックスシリーズ、セ・リーグ優勝決定戦、日本シリーズの巨人戦で、パブリックビューイングを実施し、試合終了まで延長営業。2013年プロ野球ファーム日本選手権宮崎大会の盛り上げを図るため、優勝ペナントを展示。優勝ペナントが大会前に開催地で展示されるのは史上初の試みとなった。
- 10 月：フェニックス・リーグ期間中のイベント実施。
(スタンプラリーに参加し、一定額以上商品を購入された方に使用球プレゼント)
- 11月～：店頭モニターを設置し、店舗案内やキャンプ情報、チケット販売案内など、年間を通して最新情報を流し、更なるPR強化に努めた。
- 11～3月：スポーツランド宮崎宿泊キャンペーンの特典チケット利用可能店舗として、利用者に宮崎市観光イメージキャラクターミッシちゃんのオリジナルグッズを特典として付け、更なるPRを図った。
- 3 月：宮崎市制90周年記念として開催される、プロ野球読売巨人軍公式戦のPRと盛り上げを図るため開催記念写真展を実施した。

収2. プロ野球公式戦・オープン戦等の開催事業

1. プロ野球オープン戦の開催業務

本市の観光を支えるスポーツ観光の中核を成すプロ野球キャンプについては、空港での歓迎式をはじめ、ホークスビレッジやボールパークGを開設するほか、歓迎看板、バナー設置などを行っており、春季キャンプの集大成として、オープン戦を開催した。

カ ー ド：福岡ソフトバンクホークス VS 埼玉西武ライオンズ
 期 間：平成26年2月22日・23日 13:00プレイボール
 場 所：アイビススタジアム（宮崎市生目の杜運動公園内）
 結果／観衆：22日 ホークス 8 対 1 ライオンズ /7, 112人
 23日 ホークス 5 対 8 ライオンズ /6, 784人

収3. 青島海水浴場管理運営事業

1. 青島ビーチセンター指定管理業務

平成24年度より、宮崎のマリンスポーツ、ビーチスポーツの拠点と位置付け、より広く市民等が活用できる通年営業施設として、イベント等の実施（直接的利用）やシャワー・ロッカー等のサービス事業（間接的利用）等の付加価値を加え、観光面の充実と青島地区の振興に寄与することを目的に、（特非）宮崎ライフセービングクラブと共同でビーチセンターの管理業務を行うと共に、各団体とのネットワークの拠点として、各種事業を実施した。

【主な行事】

平成25年4月～12月 みやざき元気体験受入（利用者数 636名）
 平成25年4月～平成26年3月 アウトドアフィットネス開催（5種目 参加者443名）
 平成25年4月～平成26年3月 青島周遊パックプラン（利用者数 91名）
 平成25年4月～平成26年3月 施設利用者サポート（利用者数14,617名）
 平成25年12月8日 青島太平洋マラソンの給水ポイントとしての運営協力

【年間状況】

年間施設利用者数：135,992名（前年比13%増）

2. 青島海水浴場管理運営業務

平成24年度より宮崎市青島ビーチセンター指定管理業務受託者である、渚の交番青島プロジェクト実行委員会（（特非）宮崎ライフセービングクラブと協同運営）で、夏季限定の青島海水浴場管理運営業務を受託し、安全管理に徹した運営を行った。

【本年度実績】

受託期間：平成25年6月 1日～9月15日

開設期間：平成25年6月29日～9月 1日 日数65日間（終日遊泳禁止日は無し）

来場者数：177,795名（前年比 22.6%増）

救助件数：134件 258名（軽溺救助、安全移送、迷子、その他）

救護状況：772件（クラゲ刺され、虫さされ、切り傷、擦過傷、その他）

法人会計

1. 会議の開催

- (1) 定時総会 平成25年6月21日
（平成24年度事業報告、平成25年度事業計画（案）、定款の変更、理事及び監事の選任について、他）
- (2) 理事会
第1回 平成25年6月4日
（平成24年度一般会計補正予算（案）、平成24年度事業報告、平成25年度事業計画（案）、平成25年度定時総会の開催について 他）
第2回 平成25年6月21日
（会長、副会長、専務理事の選定、顧問、参与の選任について）
第3回 平成25年10月31日
（平成25年度一般会計補正予算（案）について、会長、副会長、専務理事の職務執行状況について、主な事業の報告について、他）
第4回 平成26年3月26日
（平成25年度一般会計補正予算（案）について、会長、副会長、専務理事の職務執行状況について、主な事業の報告について、公益法人移行認定申請後の変更手続きについて他）
- (3) 総務企画委員会
第1回 平成25年5月24日
（委員長の選任について、観光功労者の選考について、事業報告、決算報告について他）
第2回 平成25年8月21日
（古事記編さん1300年記念事業について、平成26年度新規事業（案）について、他）
第3回 平成25年10月24日
（平成25年度宮崎市観光協会補正予算（案）について、他）
第4回 平成26年3月19日
（平成25年度一般会計補正予算（案）について、平成26年度事業計画（案）及び収支予算（案）について、他）
- (4) 監事会 平成25年5月23日（事業及び会計の監査）
- (5) 会長・副会長会議 平成25年8月1日
（事務局体制、会員の状況、事業内容について、観光リゾート地青島について、他）
- (6) ワーキンググループ会議
第1回 平成25年8月26日
（青島地区の誘客について、他）
第2回 平成25年10月4日
（観光宮崎が直面している課題について、他）
第3回 平成25年11月6日
（青島の開発と今後について、他）
第4回 平成25年12月17日（会長・副会長、ワーキンググループ合同会議）
（ワーキンググループの経過報告について、他）
第5回 平成26年2月17日
（イベントについて、他）

2. 観光功労者の表彰

期 日：平成25年6月21日

受賞者：個人4名

3. 社団法人宮崎市観光協会から公益社団法人宮崎市観光協会へ移行

期 日：平成25年4月1日

4. プロ野球キャンプ地みやざき応援事業

読売ジャイアンツ、福岡ソフトバンクホークスのキャンプは、県外からの集客はもちろん、各媒体でキャンプの様子が報道される事によるスポーツランドみやざきのPR等、多大なる経済効果を生んでいるが、本県は、キャンプ地でありながら両球団のファンクラブ加入者が少ない状況にあるため、それぞれの球団と連携する形でファンクラブ加入促進を行う事により、キャンプ地みやざきの更なるPRと両球団との関係をより強固にするため実施した。

(1) 読売ジャイアンツ公式ファンクラブ GIANTS CLUB G-Po 入会キャンペーン

期 間：平成26年2月1日・2日・8日・9日

内 容：宮崎市在住の方で、春季キャンプ中の上記期間、サンマリスタジアム宮崎の特設ブースで入会すると、通常特典に加えて、オリジナルブランケットをプレゼント

(2) 福岡ソフトバンクホークス公式ファンクラブ クラブホークス 入会キャンペーン

期 間：平成26年2月1日～2月27日

内 容：宮崎市在住の方で、春季キャンプ中の上記期間、アイビススタジアムの特設ブースで入会すると、通常特典に加えて、オリジナルスタジャンをプレゼント

会員数

平成25年3月31日	正会員	317会員
	賛助会員	4会員
	合計	321会員

平成25年度増減内訳

正会員 増	11会員
正会員 減	1会員
賛助会員減	1会員
退 会 正会員	11会員
清武町観光協会継続会員	19会員
合計 会 員	18会員増

平成26年3月31日	正会員	318会員
	清武町観光協会継続会員	18会員
	賛助会員	3会員
	合計 会 員	339会員

その他関連事業（協力会等）

1. 球春みやざきベースボールゲームズ実行委員会

(1) 球春みやざきベースボールゲームズ

既存キャンプ球団の継続及び期間の長期化のためには、キャンプ期間中の実戦形式の練習環境が重要であることから、他県でキャンプを張るチームへ宮崎での練習試合開催を呼び掛け、2回目の開催となった。昨年度参加した本県でキャンプ中の福岡ソフトバンク、埼玉西武、斗山ベアーズ（韓国）に加えて、沖縄でキャンプを実施している千葉ロッテ、東北楽天の2球団に東京ヤクルトスワローズが加わり、6球団にて開催された。自治体及び団体で構成される「球春みやざきベースボールゲームズ実行委員会」が主催となり大会運営を行い、テレビ・ラジオなどのCM告知、印刷広告等を実施した。なお、当協会は、実行委員会の事務局として取り組んだ。

支援内容：試合運営にかかわる経費の支援、球団への交通費・宿泊費の一部負担 等

観客数：15,700名

【試合結果】

[2月25日]

埼玉西武ライオンズ	3対7	東北楽天ゴールデンイーグルス (サンマリンスタージアム)	観衆3,000人
福岡ソフトバンクホークス	14対4	斗山ベアーズ (アイビススタジアム)	観衆3,500人
東京ヤクルトスワローズ	11対3	千葉ロッテマリーンズ (西都原野球場)	観衆1,500人

[2月26日]

埼玉西武ライオンズ	対	東京ヤクルトスワローズ (サンマリンスタージアム)	※雨天中止
福岡ソフトバンクホークス	対	千葉ロッテマリーンズ (アイビススタジアム)	※雨天中止
東北楽天ゴールデンイーグルス	対	斗山ベアーズ (SOKKEN スタジアム)	※雨天中止

[2月27日]

埼玉西武ライオンズ	3対10	斗山ベアーズ (サンマリンスタージアム)	観衆1,000人
福岡ソフトバンクホークス	2対5	東京ヤクルトスワローズ (アイビススタジアム)	観衆4,100人
東北楽天ゴールデンイーグルス	1対13	千葉ロッテマリーンズ (SOKKEN スタジアム)	観衆2,600人

2. 福岡ソフトバンクホークス宮崎協力会

(1) 福岡ソフトバンクホークスキャンプの受入事業

空港での歓迎式を行うとともに、キャンプ地宮崎市生目の杜運動公園内に飲食販売ブース「ホークスビレッジ」を開設した。また、歓迎装飾やステージイベントを実施し、歓迎ムードや賑わいを創出した。

福岡ソフトバンクホークス

秋季キャンプ：平成25年11月1日～22日

観客数：未発表

春季キャンプ：平成26年2月1日～27日

観客数：262,400名

3. 読売巨人軍宮崎協力会

(1) 読売巨人軍キャンプの受入事業

読売巨人軍のリーグ優勝に伴い、空港での歓迎式を盛大に行うとともにサンマリンスタージアム宮崎横に飲食販売ブース「ボールパークG」を開設した。また歓迎装飾やステージイベントを行う等、歓迎ムードや賑わいを創出した。

読売巨人軍

春季キャンプ：平成26年2月1日～13日

観客数：184,500名

4. Jリーグ等宮崎協力会

Jリーグ等のキャンプに伴い、空港や練習会場での歓迎や特産品の差し入れを行い、歓迎看板及びフラッグを設置し歓迎ムードを高めた。グラウンド整備を始めとした受入体制の充実に努めた。

また、今年度初めてJリーグ夏季キャンプが実施された。

【夏季キャンプ】

(1) 鹿島アントラーズ 平成25年6月8日～6月15日 宮崎市生目の杜運動公園陸上競技場
県総合運動公園 陸上競技場

【春季キャンプ】

- (1) 浦和レッドダイヤモンズ 平成26年1月17日～1月27日 県総合運動公園 ラグビー場
(2) 横浜F・マリノス 平成26年2月1日～2月7日 シーガイア スクエア1
(3) アビスパ福岡 平成26年2月1日～2月8日 生目の杜運動公園 陸上競技場
(4) 徳島ヴォルティス 平成26年2月1日～2月15日 県総合運動公園 ラグビー場
(5) 鹿島アントラーズ 平成26年1月28日～2月8日 県総合運動公園 陸上競技場
(6) 川崎フロンターレ 平成26年2月5日～2月12日 県総合運動公園 サッカー場
(7) ファジアーノ岡山 平成26年2月9日～2月18日 清武総合運動公園 生目の杜運動公園
(8) セレッソ大阪 平成26年2月13日～2月19日 宮崎市国際海浜エントランスプラザ
(9) サンフレッチェ広島 平成26年2月10日～2月21日 シーガイア スクエア1
(10) ベガルタ仙台 平成26年2月16日～2月26日 県総合運動公園 陸上競技場
(11) モンテディオ山形 平成26年2月20日～3月12日 県総合運動公園 サッカー場他
(12) ヴィッセル神戸 平成26年2月8日～2月9日 (練習試合を主な目的に来宮)
(13) 大学学生選抜(ユニバーシアード日本代表) 平成26年2月10日～2月14日

延べ宿泊者数 チーム関係者のみ：5,704泊(前年比8%増)

○チームへの表敬

サンフレッチェ広島、横浜F・マリノス、アビスパ福岡、モンテディオ山形、鹿島アントラーズ

○市民との交流

アビスパ福岡サッカー教室

期 日：平成26年2月3日

参加者：83名

鹿島アントラーズサッカー教室

期 日：平成26年2月3日

参加者：約120名

5. みやざきフェニックス・リーグ支援実行委員会

イースタン6球団で開始したプロ野球秋季教育リーグは、平成21年度からみやざきフェニックス・リーグと名称を変え、ファーム全12球団、四国アイランドリーグ選抜Plus、韓国プロ野球3球団を加え合計16球団の参加となり年々盛り上がりを見せている。さらに、今年度は開催10回目を迎え様々な記念イベントを開催しラッピングバスを導入、高速バスにて九州近隣県などにPR告知を行った。また、歓迎ムードを高めるため歓迎バナーの掲出、プロ野球グッズなどが当たるスタンプラリーの実施、さらには選手会の協力にてキャッチボールイベントの開催などフェニックス・リーグ10回目に花を添えた。その他前夜祭の開催、各球場での支援等を行った。

期 間：平成25年10月7日～29日(22日間) 144試合

実施試合：107試合(中止37試合)

会 場：アイビススタジアム、サンマリノスタジアム宮崎、他県内各球場

来場者数：34,702名(前年比5%増)

6. ダンロップフェニックストーナメント宮崎協力会

内容については、ダンロップトーナメント欄(P26)に記載

7. みやざき市ロケ応援隊

ロケ地紹介やエキストラ紹介等の協力依頼があった際は、情報を収集し依頼先へ案内をした。
宮崎の観光スポットや食に関する情報等の内容のものが主だった。

案内件数：15件

(以上)